

雨水排水対策と いじめ・不登校問題について

小林 信 議員

住宅急増地域の排水対策

質問 7月の大雨により多くのところで道路が冠水し、住宅地に雨水が侵入しました。

する現状をどのように認識しているのか。

公共の排水路の容量が

答 ご指摘のように、従前は農地だった部分に開発行為が多数行われており、そのため公共の水路の容量が、それに耐えられる容量を踏まえていないのが現状であると思います。

雨水調整池の設置は

質問 大街道二丁目の排水能力を高めると下流の加法師川が氾濫することになり、茂林寺前駅西側では、関東学園の陸上競技場から滝のような雨水が道路にあふれ出ています。これらを解決するためには、雨水調整池の設置が必要ではないのか。

答 現在、大街道地域については東側地域の下流部分の改修工事を進めております。茂林寺前駅西側については、東武線の下を通り茂林寺川へ放流する排水経路や、駅前広場の整備に伴う排水は宮田川に放流する計画です。調整池については、立地的に難しい状況です。

自殺したいとの深刻な問題

質問 ある小学校で、いじめから、不登校になった子どもが自殺したいと母親に訴えたという深刻な問題があります。学校に相談したのに、適切に対応してくれないということです。教育委員会はどんな時でも素早く対応しなければ、子どもがあまりにもかわいそうで、保護者も心身ともに疲れ切っています。教育委員会として、この問題にどのように対応しているのか。

指導主事を中心に対応を

答 昨年度末に子ども同士のトラブルがあり、十分な対応ができずにきてしまいました。教育委員会としては、指導主事が学校に出向き、保護者、被害児童、学校と一緒にやって対応を進めているところです。

18歳選挙権について問う

河野 哲雄 議員

質問

期日前投票所での宣誓書の記載の簡素化は、有権者の負担を減らし、投票行動の意欲を高めると考えます。こうした宣誓書の記載の改善策について、考えをお聞きます。

と併せて宣誓書の様式を掲載しましたところ、約1割の方が宣誓書を事前に記載し来場されました。今後とも、円滑な受付業務に取り組みでまいりたいと考えております。

質問

今回の県知事選挙では初の試みとして、選挙公報に期日前投票のお知らせ

質問 本年6月、選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に引き下げる改正

公職選挙法が成立しました。本市では18歳選挙権に対してどのような対応策を考えているのか、お聞きます。

答 新たに有権者となる若年層に対し、政治や選挙に関する積極的な情報提供と学習機会の確保が必要であると考えております。今後は直接学校に向向いての出前講座や模擬投票などの取り組みについての研究を行うとともに、若者への情報発信については、低コストで双方向のコミュニケーション

ションが可能なインターネットが若者の政治参加の機会を高める上で有効な手段であることから、インターネットを活用した情報提供に取り組んでまいりたいと考えております。

質問

若者に政治意識を持たせるには、義務教育の段階から主権者意識を育む教育が重要であると考えておりますが、当局の考えをお聞きます。

質問

主体的に社会へ参画し、自立して社会生活を営

む力などを目指した主権者教育を小学校の段階から行うことは大変意味あることと考えております。今後、教育委員会としては、社会問題の解決策を考える授業など、社会参加にかかわる授業モデルを示すなど、教員が主権者教育に取り組みやすい環境を整えるとともに、主権者教育の視点を取り入れた授業を各学校で積極的に実践するよう呼びかけたいと考えております。